

410) プレゼンテーション

その日は新しいお得意先にプレゼンテーションを行なうことになっておりまして、前日は家に帰ったのが午前3時過ぎ、もうほとんど徹夜に近い状態でした。しかもこの2～3日ずっとそんな状態でしたから、赤羽で運良く腰掛けるとほとんど瞬間的に眠ってしまいまして、隣の人の肩にもたれかかっていたようでした。2度ばかり押し戻されて、そのたびにうっすらと目を覚ましたのですが、また寝てしまいました。上野まで来ると結構しゃきつとしてきたのですが、我輩の隣のその男が憎々しげに我輩に向かって言うには「アンタも疲れてるねー」の強烈な一言でありました。

会社に来るとコピーを取ってから、タクシーに乗り込んで日本橋の敵陣に到着。プレゼンテーションを始めると、先方の反応はまずまずだったので、ホットしました。ところが最後に得意先の部長殿が「それにしても、なんだか疲れてるねー」と言うではありませんか。我輩は嫌みな奴だな～と思って、部長殿の顔をシゲシゲと見ると、どこかで見たような顔ではありませんか。帰りのタクシーの中で思い出しました。電車の中で今朝のお隣さんだったのであります。この場合プレゼンテーションに負けたのは、やむを得ないことでして、また次回頑張りま～す。